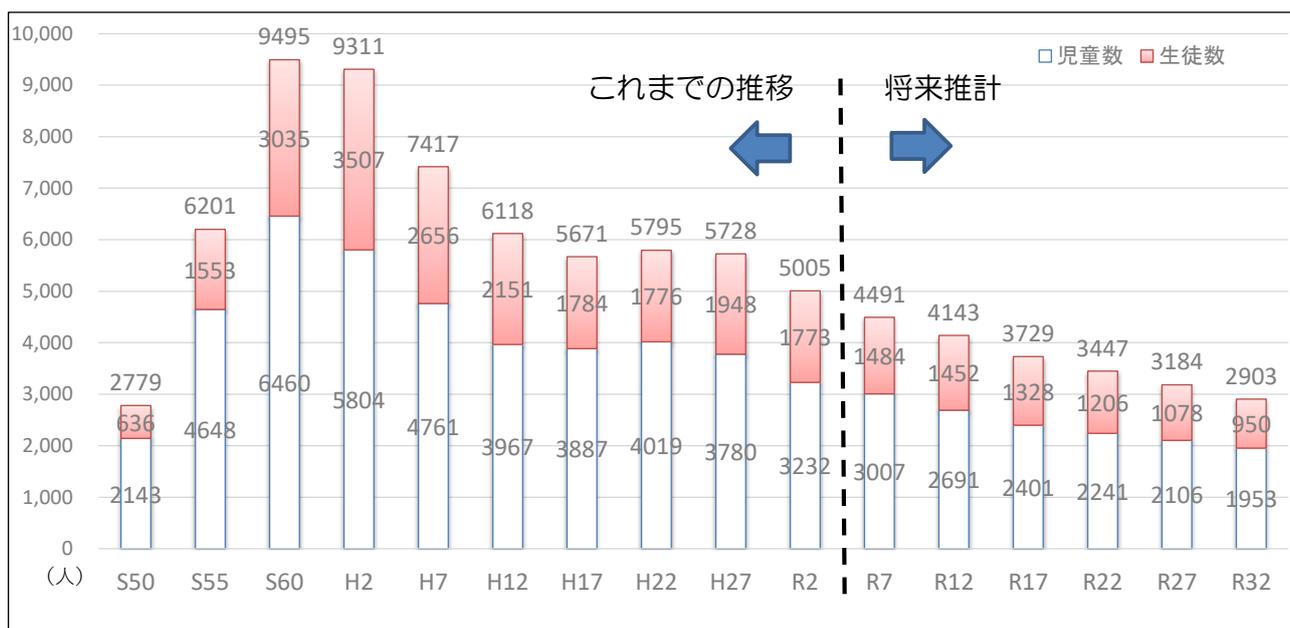


## IV 資料編

### 1 将来の児童・生徒数の推計

#### (1) 将来の児童・生徒数の推計

本市の小・中学校の児童・生徒数の推移は昭和 60(1985)年の児童数 6,460 人、生徒数 3,035 人をピークに年々減少し、令和 2 (2020) 年では児童数が 3,232 人、生徒数は 1,773 人となっており、ピーク時の昭和 60 (1985) 年から児童数は 50.0%減、生徒数は 58.4%減となっています。将来においても、更なる児童・生徒数の減少が見込まれます。



児童・生徒数の推計

## 児童・生徒数推計の方法

学校再編は令和元（2019）年度作成の推計を基に検討しました。

令和元（2019）年度の推計方法は以下のとおりです。

### 【①実数を基にした推計】

- ・既に生まれている子どもの数を基に、転入転出等は考慮せず、そのまま進学するものとして将来推計を行います。児童数は令和12（2030）年度、生徒数は令和15（2033）年度までとなります。

### 【②コーホート要因法による推計】

- ・これから生まれてくる子どもは、平成27（2015）年4月1日の市住民基本台帳を基準にコーホート要因法を基にした将来推計を行います。平成30（2018）年の国立社会保障・人口問題研究所の設定する生残率、移動率、将来の子ども女性比、出生児の男女性比を使用し、コーホート要因法に基づく数値を用いています。ただし、生徒数の将来推計にあたっては、私立中学校と特別支援学校への進学見込者数は除いていません。

### 【①+②の併用による推計】

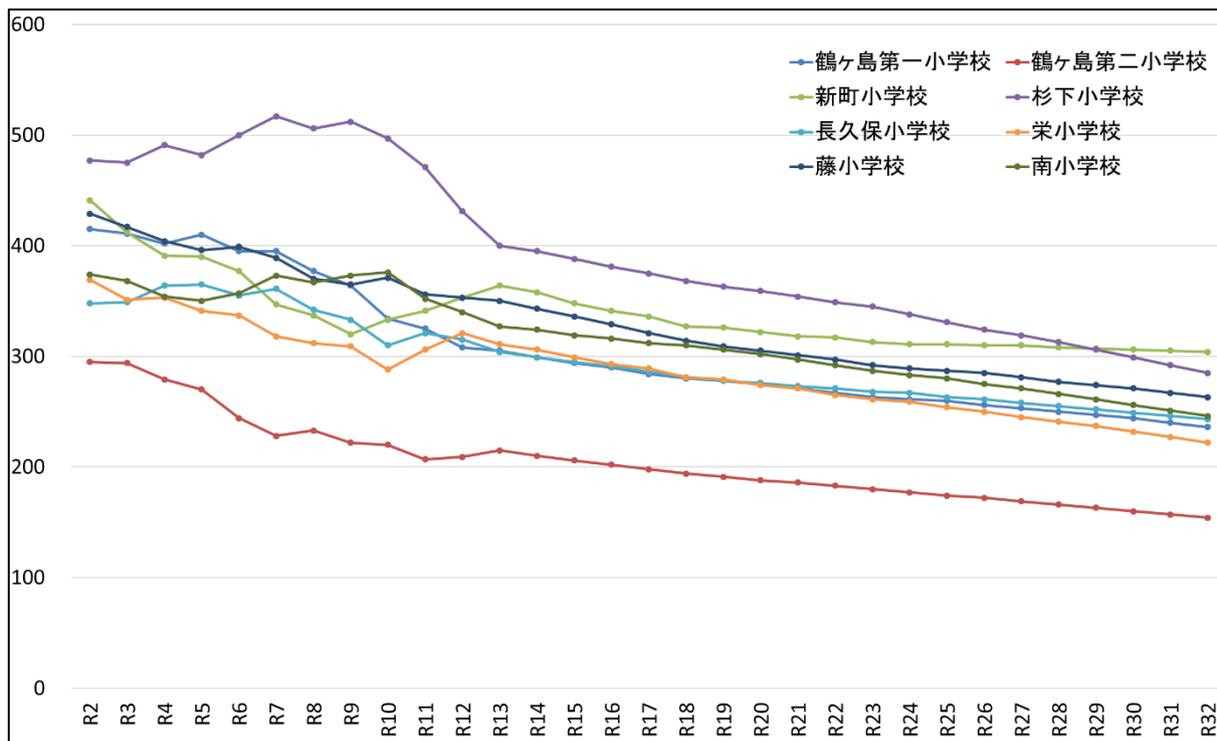
- ・現在生まれている子どもの数を用いて算出可能な学年がある年度までは①の推計方法で算出し、それ以降は②の推計方法を用いています。このため、児童数は令和8（2026）年度から令和12（2030）年度、生徒数は令和14（2032）年度から令和15（2033）年度が①と②の方法を併用しています。

※児童・生徒数、学級数の推計について、令和28（2046）年～令和32（2050）年の5年間の数値は、令和23（2041）年～令和27（2045）年までの5年間の推移の近似値を基に、算出しています。

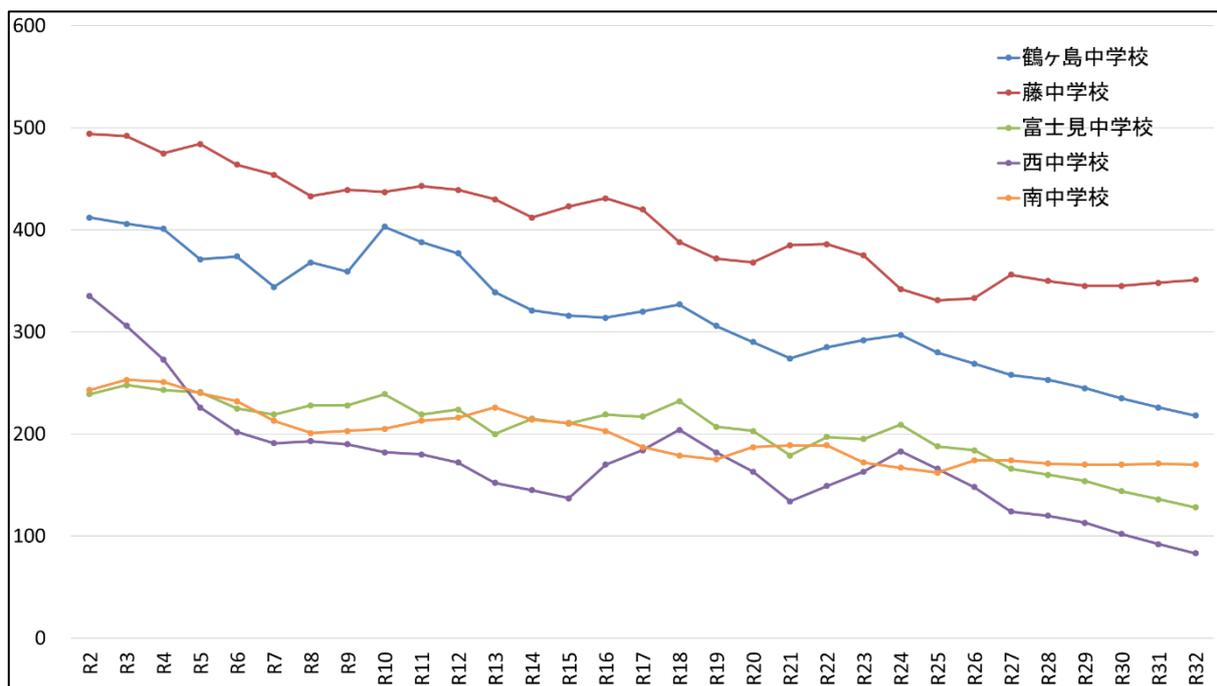
## （2）各小・中学校別の将来児童・生徒数、学級数の推計

将来的に、小・中学校ともに児童・生徒数の減少に伴い、学級数も減少傾向となっています。特に学級数の減少が顕著に見られる学校は、小学校では、鶴ヶ島第二小学校、中学校では、富士見中学校、西中学校、南中学校が適正規模の下限值である学級数(12 学級)を大きく下回っていく推計となっています。

ただし、学校によって程度が異なり、新町小学校、杉下小学校、藤小学校では、令和 32（2050）年になっても、学校の適正規模である学級数の下限値(12 学級)を維持している推計となっています。



小学校別の児童数の推計



中学校別の生徒数の推計

### 小・中学校別の児童・生徒数

(令和2(2020)年5月1日時点)

学校名	通常の学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
鶴ヶ島第一小	75	53	69	64	76	72	409	16	425
鶴ヶ島第二小	42	42	59	54	54	46	297	8	305
新町小	66	67	68	60	79	95	435	12	447
杉下小	77	69	72	91	68	86	463	9	472
長久保小	63	52	65	54	55	57	346	9	355
栄小	70	62	53	56	66	64	371	13	384
藤小	77	74	54	84	77	76	442	10	452
南小	63	51	59	68	70	70	381	11	392
小学校計	533	470	499	531	545	566	3,144	88	3,232

鶴ヶ島中	145	136	135				416	8	424
藤中	165	169	165				499	8	507
富士見中	81	86	73				240	12	252
西中	110	107	121				338	5	343
南中	89	82	70				241	6	247
中学校計	590	580	564	0	0	0	1,734	39	1,773

### 小・中学校別の学級数

(令和2(2020)年5月1日時点)

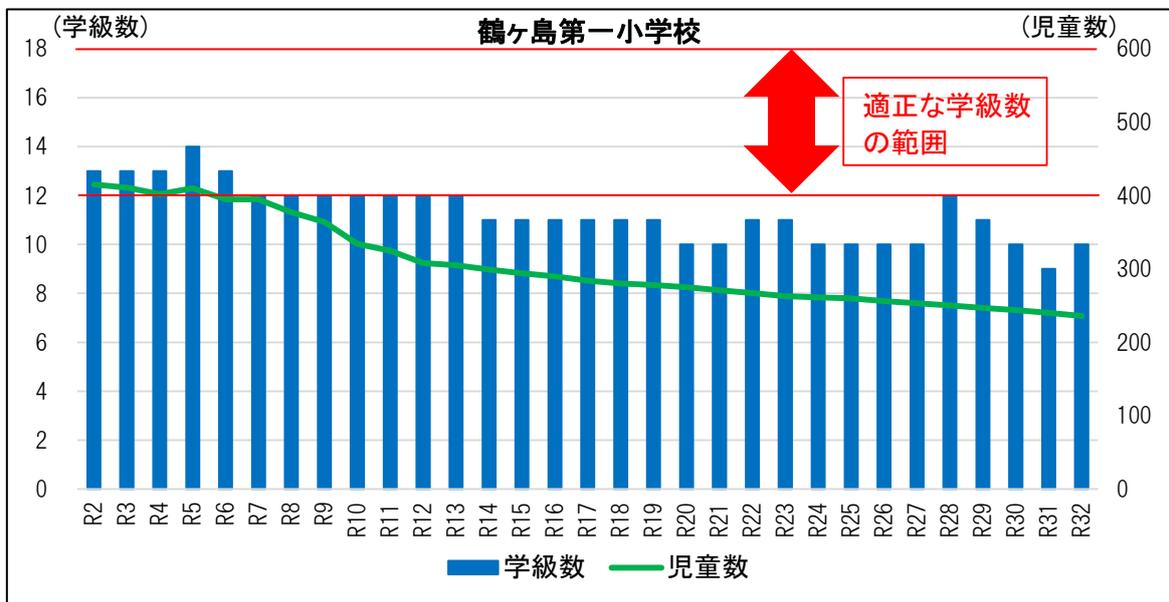
学校名	通常の学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
鶴ヶ島第一小	3	2	2	2	2	2	13	2	15
鶴ヶ島第二小	2	2	2	2	2	2	12	2	14
新町小	2	2	2	2	2	3	13	2	15
杉下小	3	2	2	3	2	3	15	2	17
長久保小	2	2	2	2	2	2	12	2	14
栄小	2	2	2	2	2	2	12	2	14
藤小	3	3	2	3	2	2	15	2	17
南小	2	2	2	2	2	2	12	2	14
小学校計	19	17	16	18	16	18	104	16	120

鶴ヶ島中	4	4	4				12	2	14
藤中	5	5	5				15	2	17
富士見中	3	3	2				8	2	10
西中	3	3	4				10	2	12
南中	3	3	2				8	2	10
中学校計	18	18	17	0	0	0	53	10	63

1) 小学校

① 鶴ヶ島第一小学校

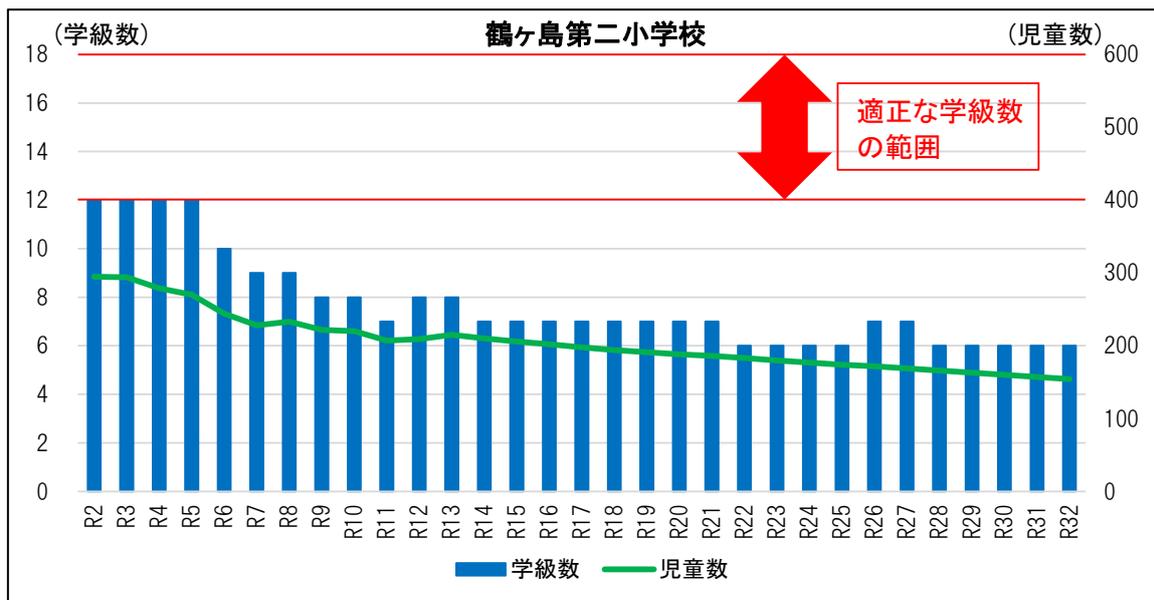
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は411人で13学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うとしても、今後、児童数の減少により、令和14（2032）年以降から12学級未満で推移する見込みです（令和28（2046）年は12学級）。



鶴ヶ島第一小学校における学級数と児童数の推移

② 鶴ヶ島第二小学校

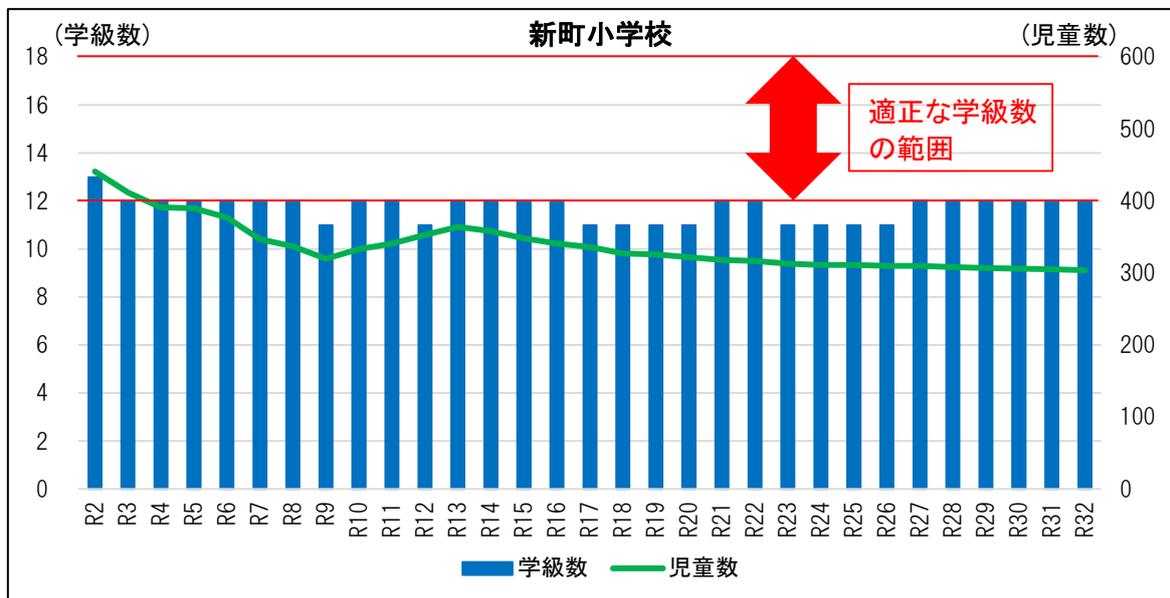
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は294人で12学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うとしても、今後、児童数の減少により、令和6（2024）年以降から12学級未満で推移する見込みです。



鶴ヶ島第二小学校における学級数と児童数の推移

### ③新町小学校

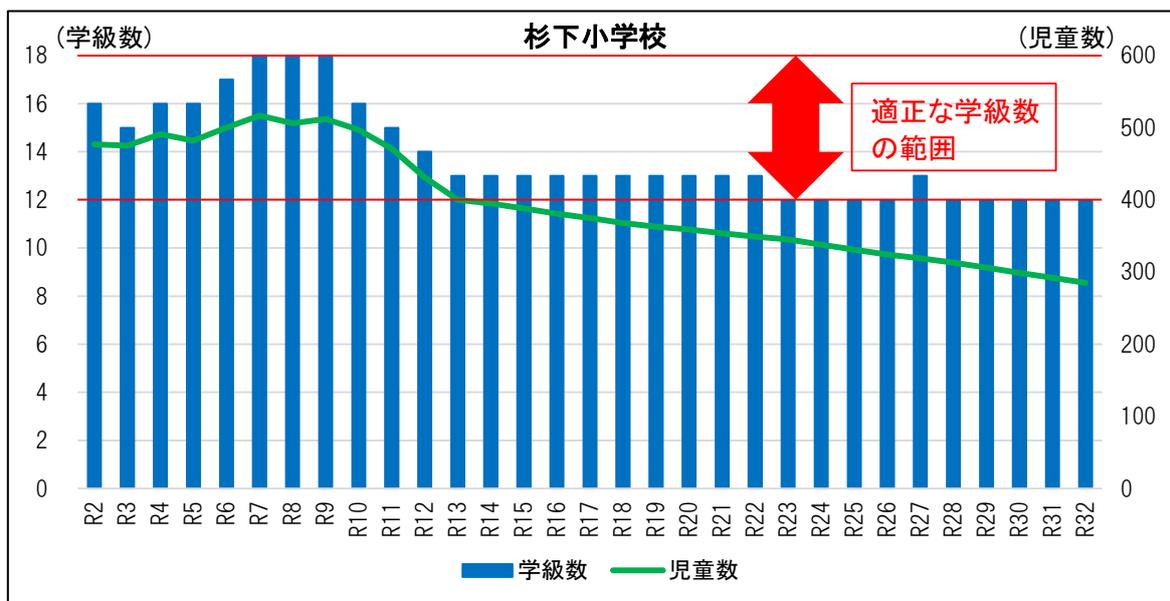
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は412人で12学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うと、将来的にも12学級～18学級は維持できますが、一時11学級まで落ち込む時期があります。



新町小学校における学級数と児童数の推移

### ④杉下小学校

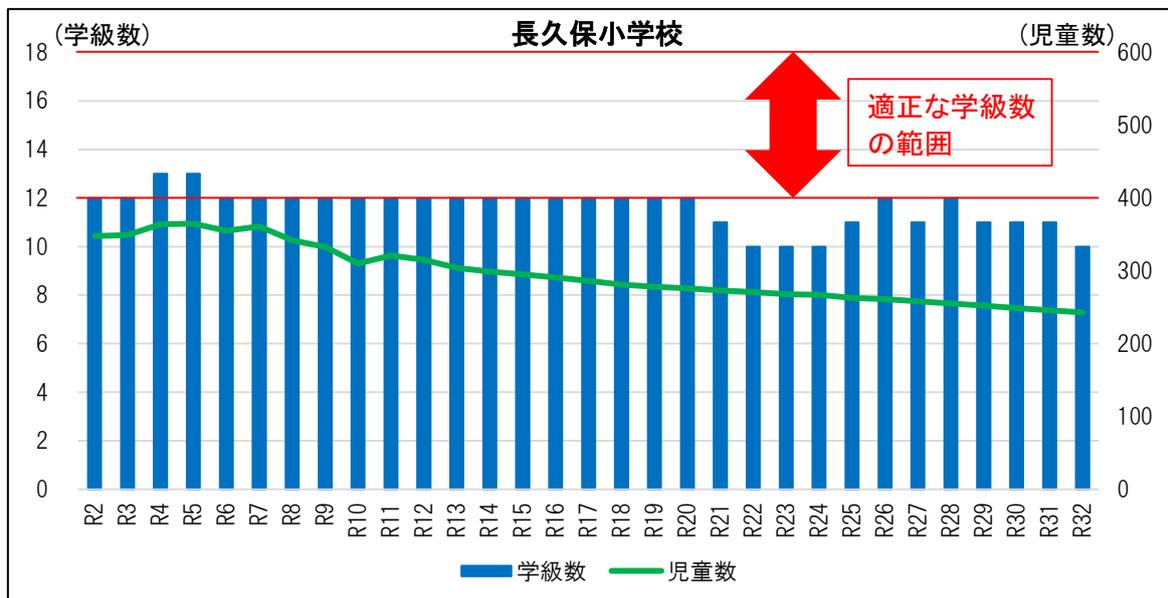
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は475人で15学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うと、将来的にも12学級～18学級は維持できます。



杉下小学校における学級数と児童数の推移

### ⑤長久保小学校

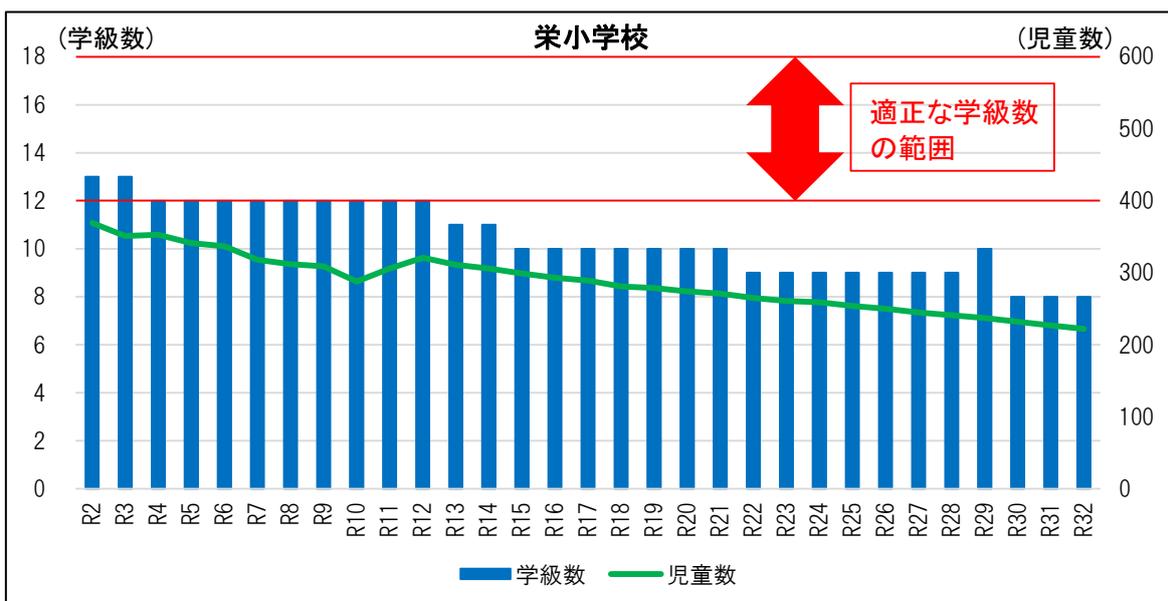
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は349人で12学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うと、令和21（2039）年以降一時10学級まで落ち込み、将来的には、12学級未満となる見込みです。



長久保小学校における学級数と児童数の推移

### ⑥栄小学校

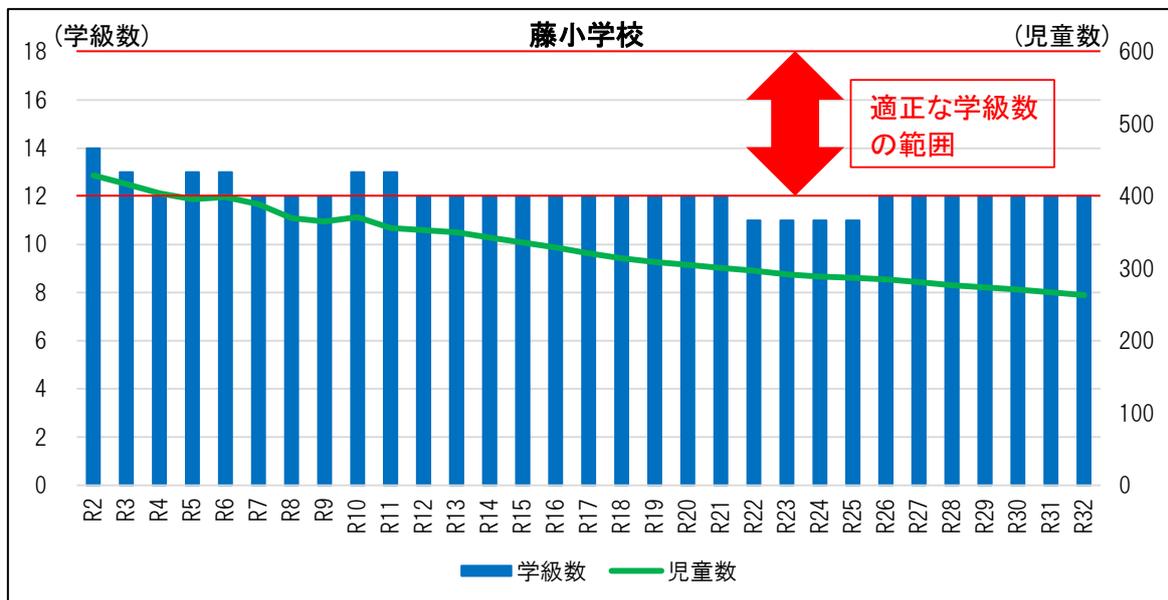
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は351人で13学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うとしても、今後、児童数の減少により、令和13（2031）年以降から12学級未満で推移する見込みです。



栄小学校における学級数と児童数の推移

⑦藤小学校

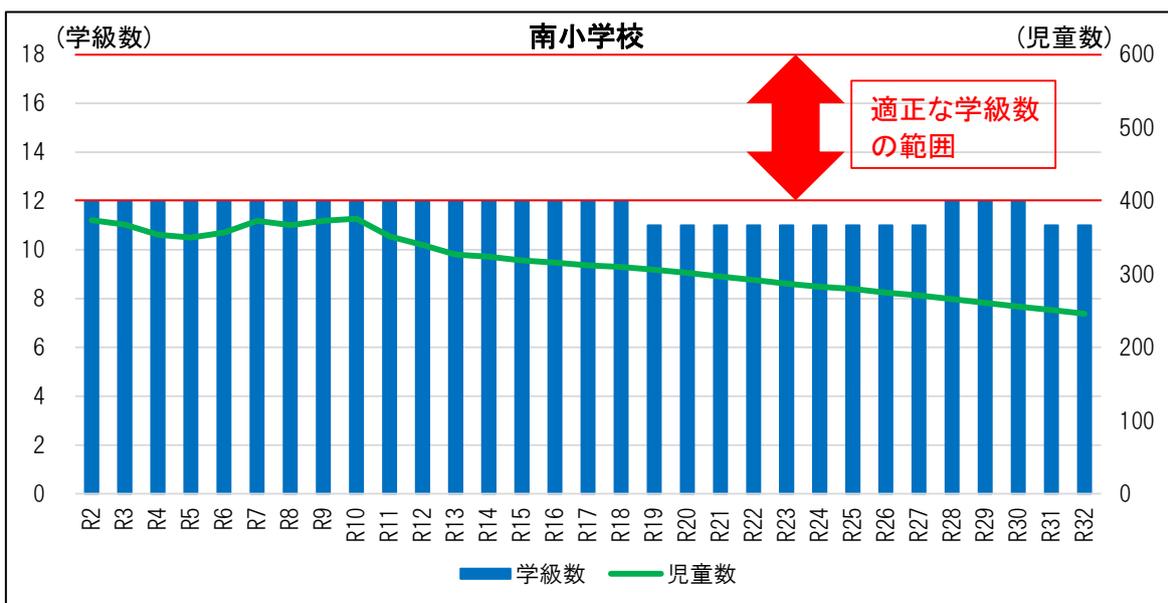
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は417人で13学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うと、将来的にも12学級～18学級は維持できますが、一時11学級まで落ち込む時期もあります。



藤小学校における学級数と児童数の推移

⑧南小学校

- ・令和3（2021）年時点（推計値）で児童数は368人で12学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うと、将来的にも12学級～18学級は維持できますが、一時11学級まで落ち込む時期もあり、将来的には12学級未満となる見込みです。

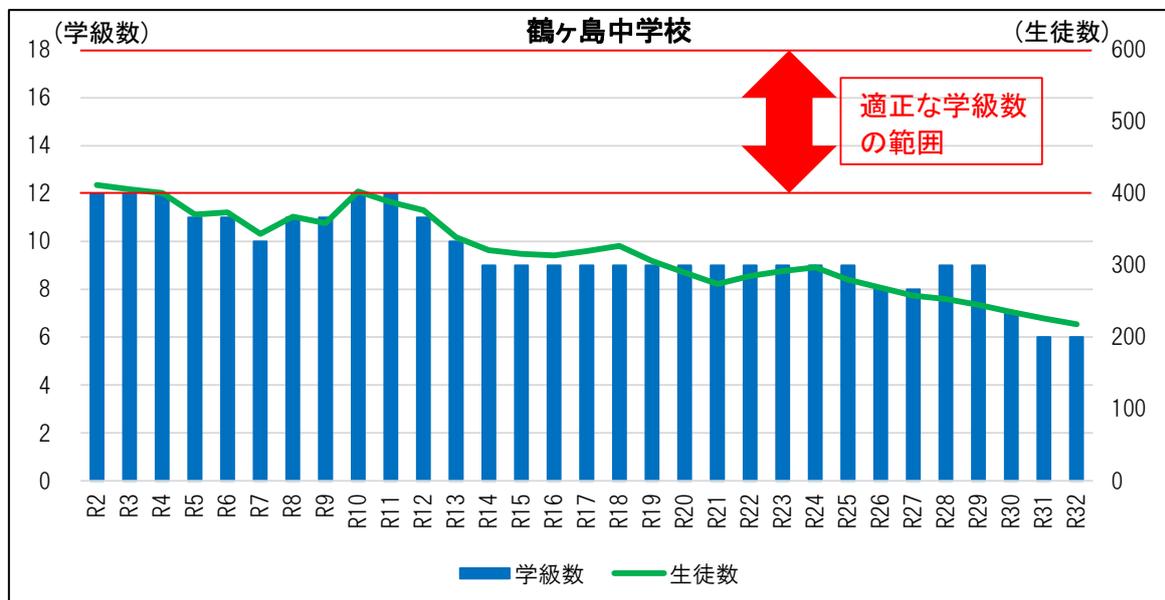


南小学校における学級数と児童数の推移

## 2) 中学校

### ①鶴ヶ島中学校

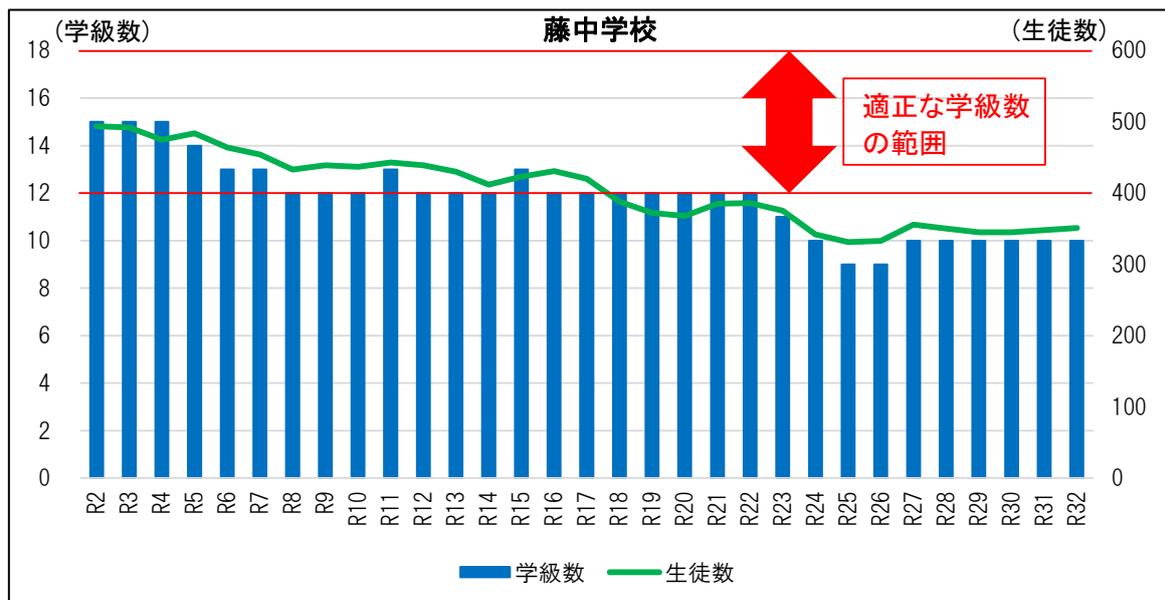
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で生徒数は406人で12学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うとしても、今後、生徒数の減少により、令和12（2030）年以降の段階から12学級未満で推移する見込みです。



鶴ヶ島中学校における学級数と生徒数の推移

### ②藤中学校

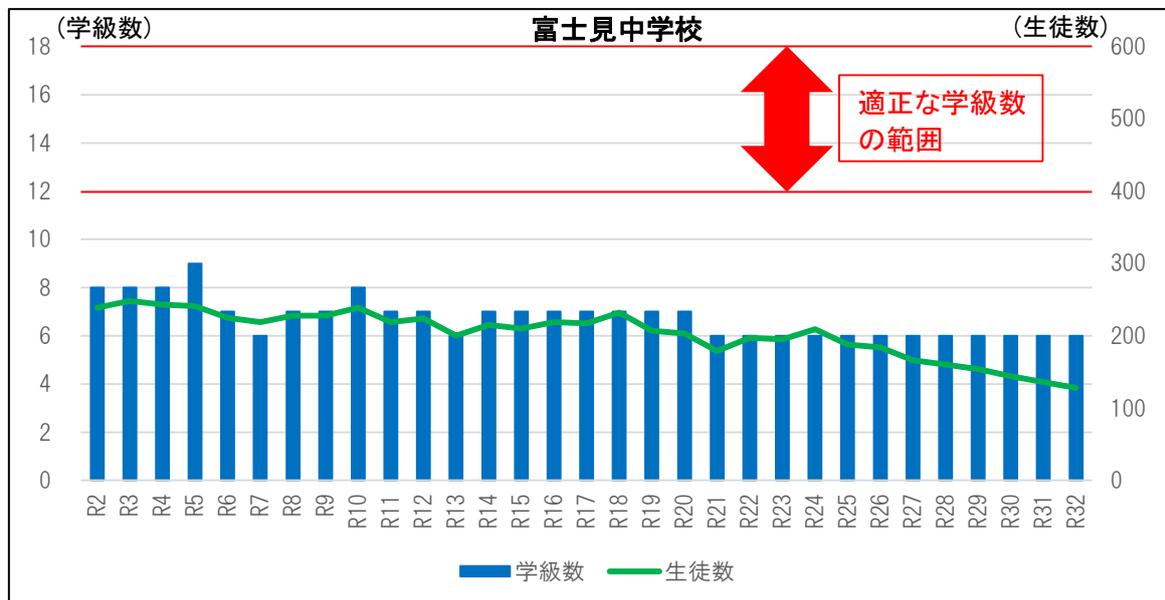
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で生徒数は492人で15学級となっています。
- ・現状と同程度の学級編成を行うとしても、今後、生徒数の減少により、令和23（2041）年以降は12学級未満で推移する見込みです。



藤中学校における学級数と生徒数の推移

### ③富士見中学校

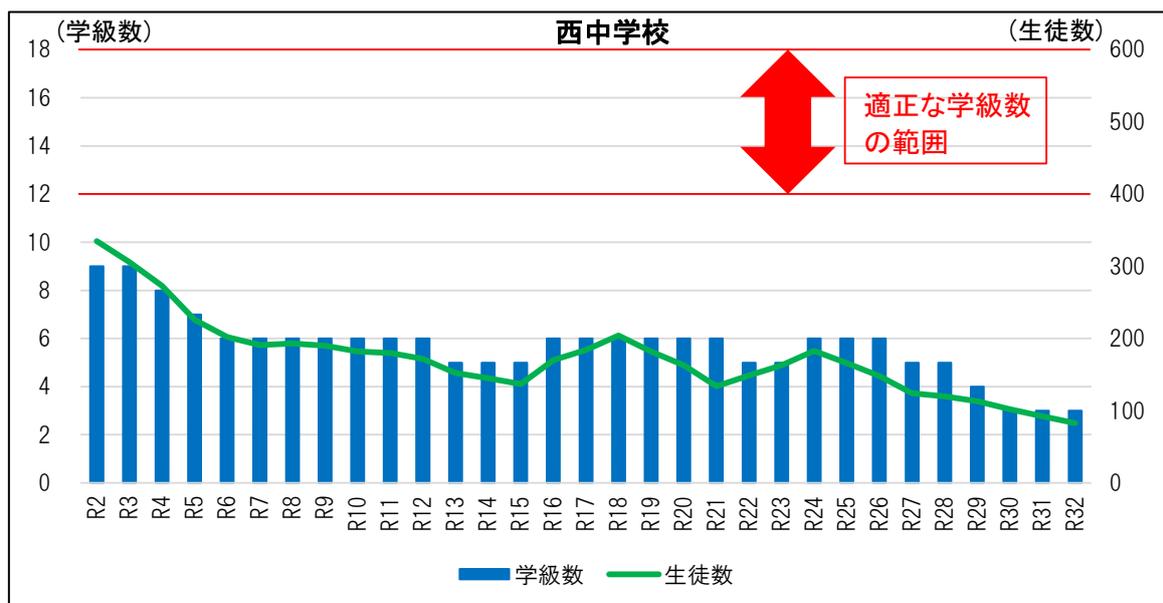
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で生徒数は248人で8学級となっています。
- ・既に、現状の学級編成で12学級未満となっており、今後さらに生徒数及び学級数は減少する見込みです。



富士見中学校における学級数と生徒数の推移

### ④西中学校

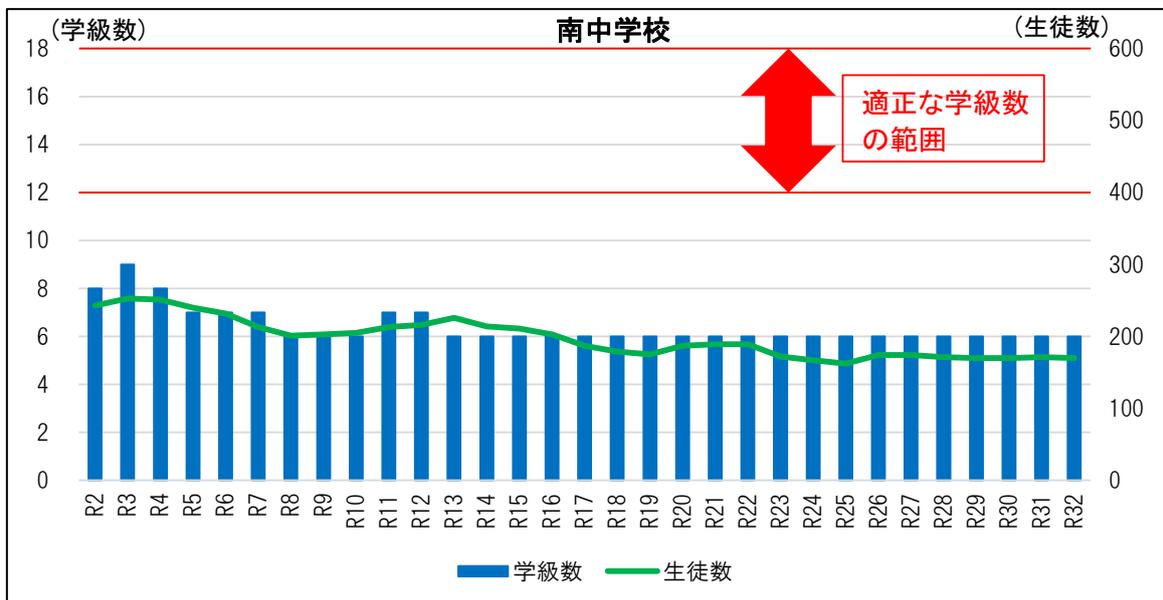
- ・令和3（2021）年時点（推計値）で生徒数は306人で9学級となっています。
- ・既に、現状の学級編成で12学級未満となっており、今後さらに生徒数及び学級数は減少する見込みです。



西中学校における学級数と生徒数の推移

⑤南中学校

- ・令和3（2021）年時点（推計値）で総生徒数は253人で9学級となっています。
- ・既に、現状の学級編成で12学級未満となっており、今後さらに生徒数及び学級数は減少する見込みです。



南中学校における学級数と生徒数の推移

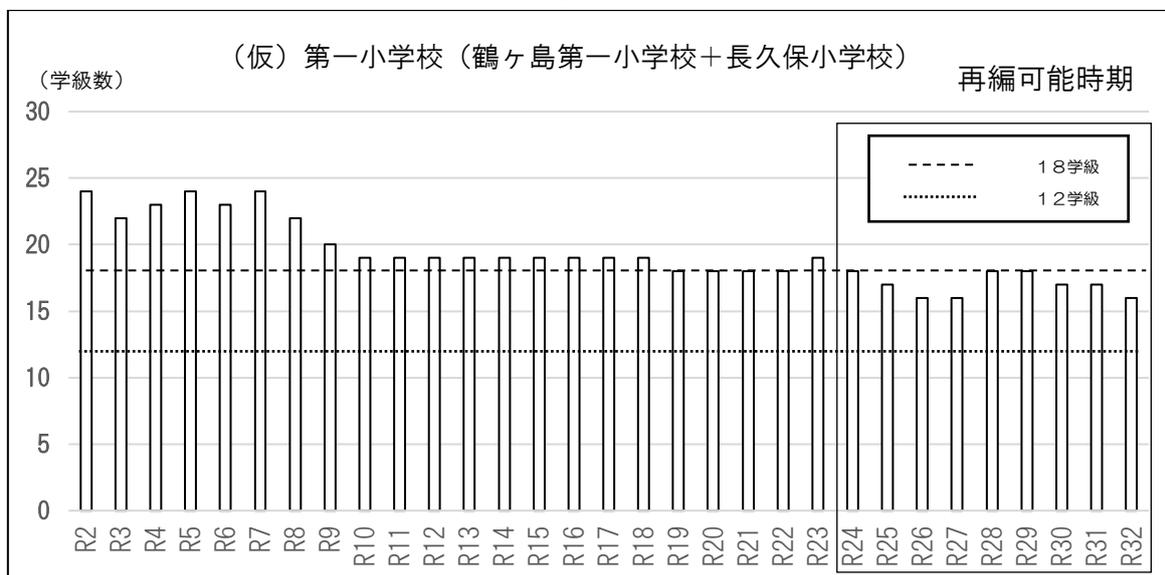


## 2 小・中学校再編後の学級数の推移

小学校再編及び中学校再編の検討結果から、再編後の各小学校及び各中学校の学級数の推移は以下のとおりです。

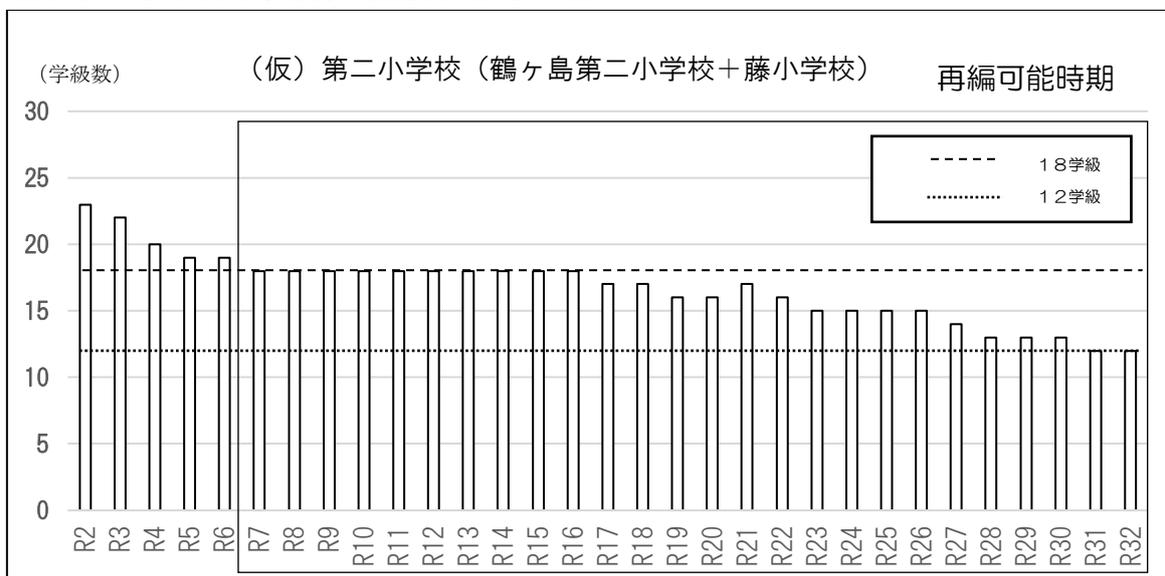
### (1) 再編後の小学校学級数の推移

#### 1) (仮) 第一小学校 (再編後の使用校は鶴ヶ島第一小学校)

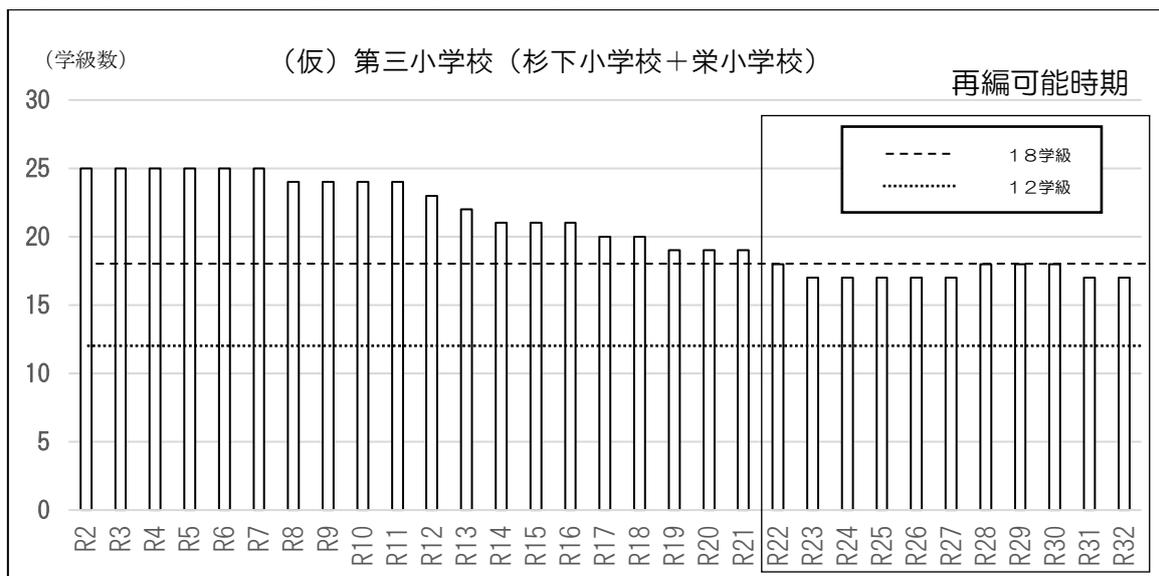


※ 適正規模の学級数として、「鶴ヶ島市学校再編に関する基本方針 (平成 29 (2017) 年 1 月)」より、小学校を各学年 2 学級～3 学級 (全学年合計 12 学級～18 学級)、中学校を各学年 4 学級～6 学級 (全学年合計 12 学級～18 学級) と設定しています。

#### 2) (仮) 第二小学校 (再編後の使用校は藤小学校)

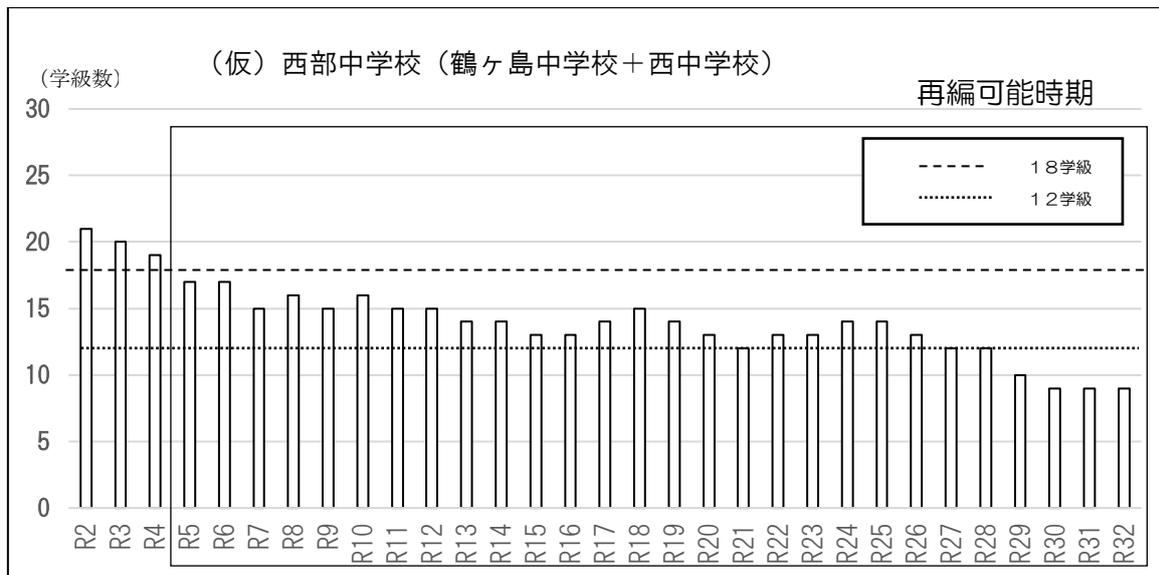


3) (仮) 第三小学校 (再編後の使用校は栄小学校)



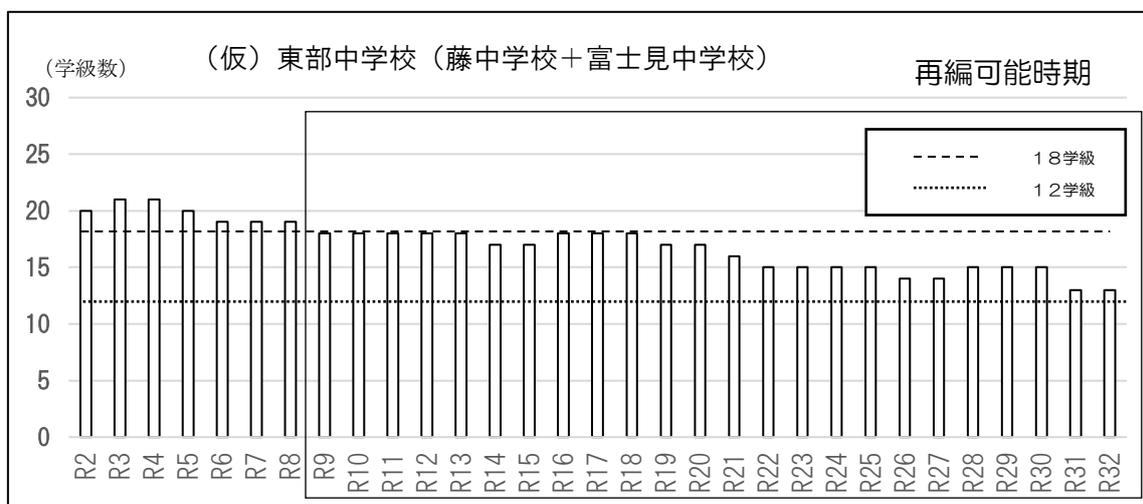
(2) 再編後の中学校学級数の推移

1) (仮) 西部中学校 (再編後の使用校は鶴ヶ島中学校)



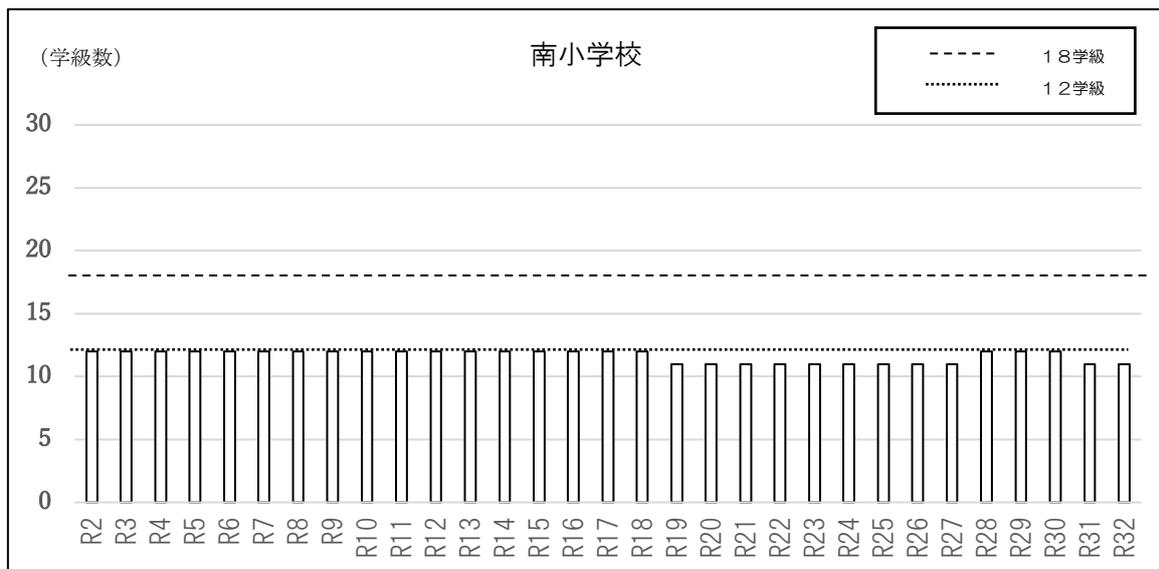
※ 適正規模の学級数として、「鶴ヶ島市学校再編に関する基本方針（平成 29(2017)年 1 月）」より、小学校を各学年 2 学級～3 学級（全学年合計 12 学級～18 学級）、中学校を各学年 4 学級～6 学級（全学年合計 12 学級～18 学級）と設定しています。

2) (仮) 東部中学校 (再編後の使用校は藤中学校)

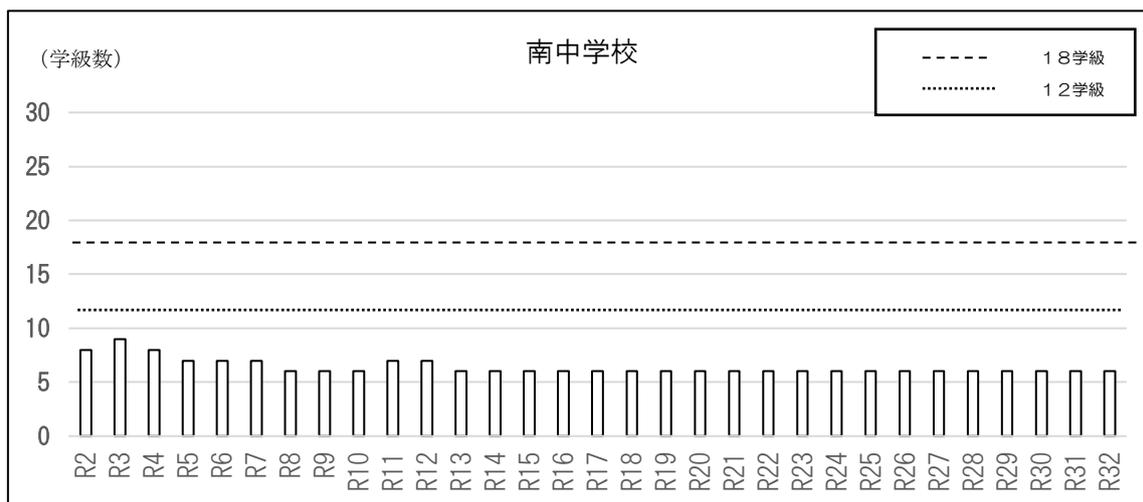


(3) 再編後の小中一貫教育校学級数の推移

1) (仮) 南小中一貫教育校 (再編後の使用校は南小学校)



+

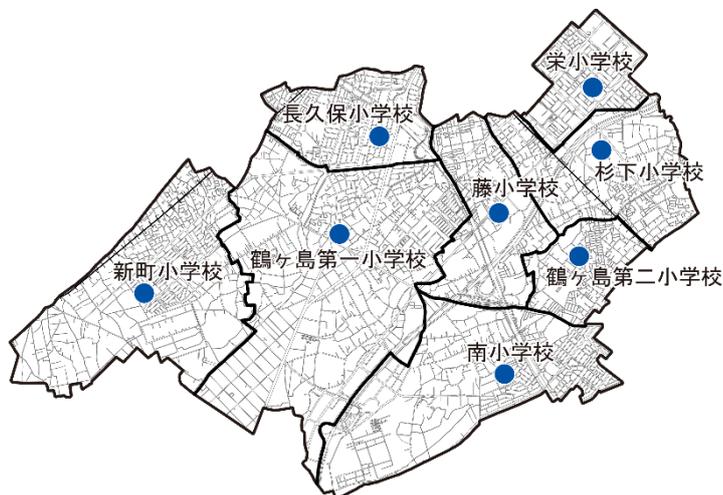


#### (4) 小・中学校再編後のイメージ

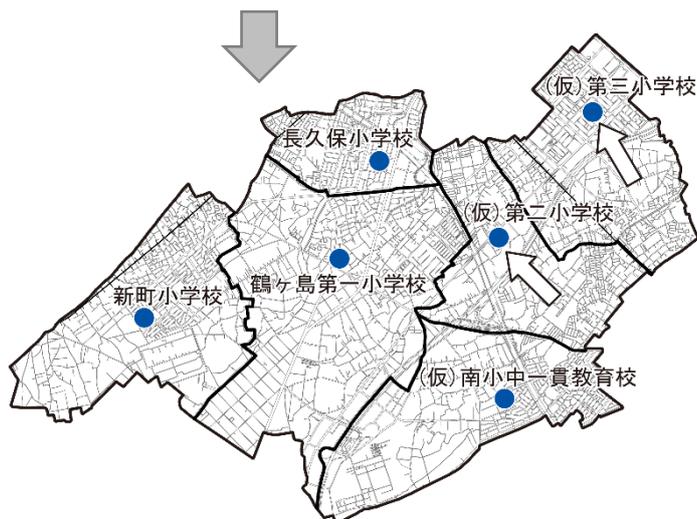
小学校再編及び中学校再編の検討結果から、再編後の各小学校及び各中学校のイメージは以下のとおりです。

##### 1) 小学校再編イメージ

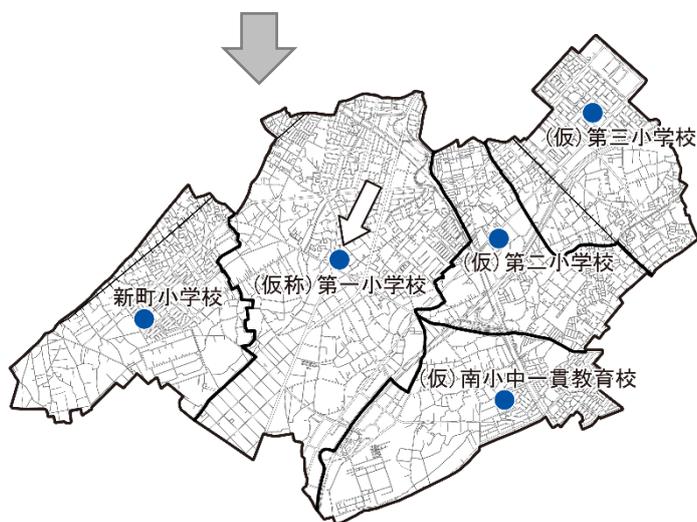
小学校通学区域図 1
令和 2 (2020) 年度、現在の小学校区



小学校通学区域図 2
令和 23 (2041) 年度、鶴ヶ島第二小学校と藤小学校を(仮)第二小学校に再編
令和 27 (2045) 年度、杉下小学校と栄小学校を(仮)第三小学校に再編



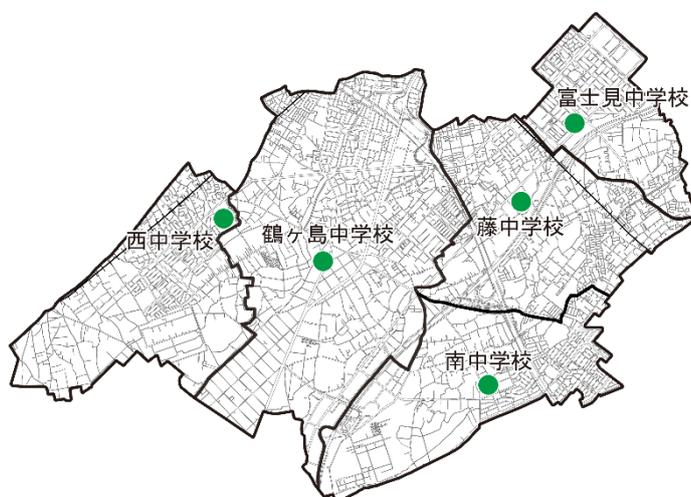
小学校通学区域図 3
令和 31 (2049) 年度、鶴ヶ島第一小学校と長久保小学校を(仮)第一小学校に再編



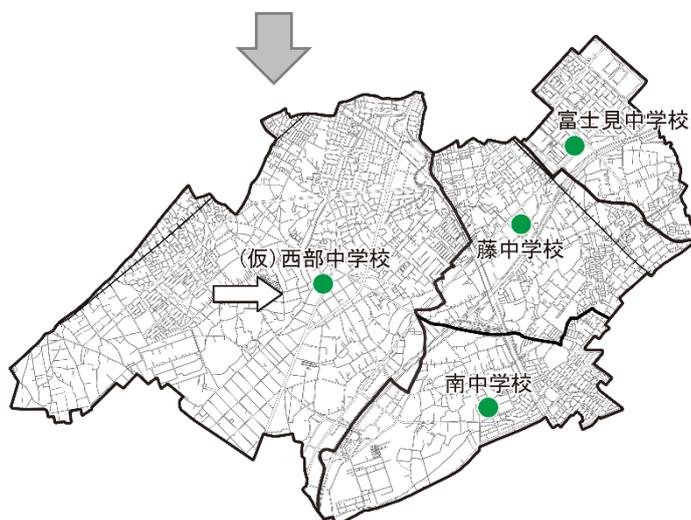
※小・中学校通学区域に関する規則の通学区域図を基に作成

## 2) 中学校再編イメージ

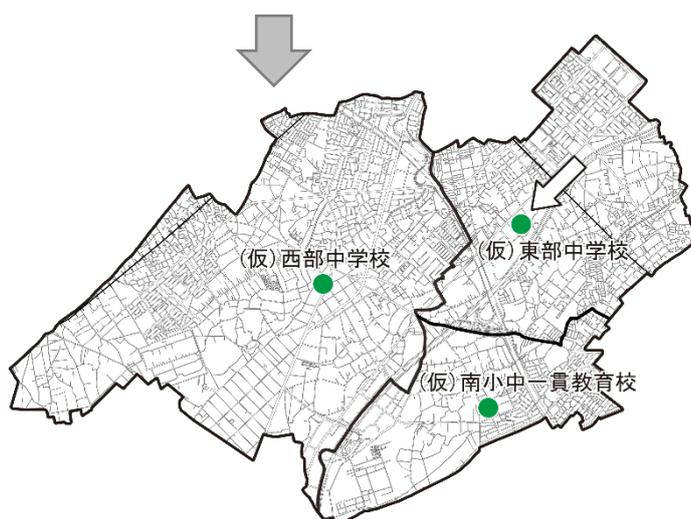
中学校通学区域図 1  
令和 2 (2020) 年度、現在の中学校区



中学校通学区域図 2  
令和 9 (2027) 年度、鶴ヶ島中学校と西中学校を(仮)西部中学校に再編



中学校通学区域図 3  
令和 14 (2032) 年度、南中学校と南小学校を(仮)南小中一貫教育校に再編  
令和 19 (2037) 年度、藤中学校と富士見中学校を(仮)東部中学校に再編



※小・中学校通学区域に関する規則の通学区域図を基に作成

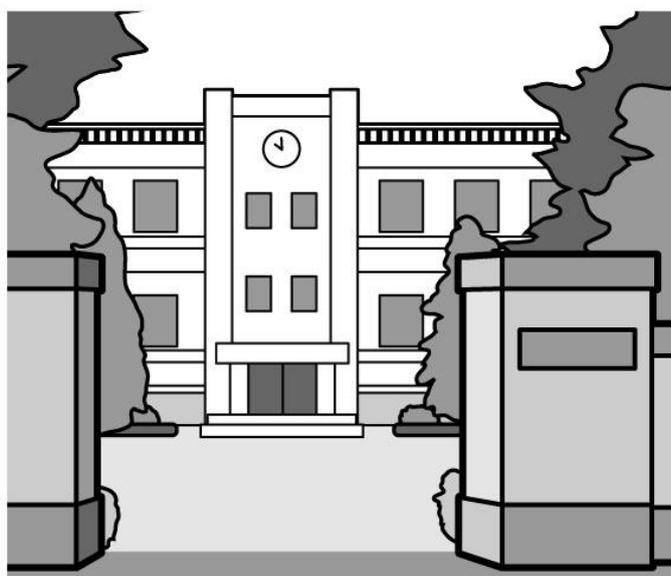
### 3 学校再編に関する学校関係者への説明状況と収集した意見等

#### (1) 令和3年度学校関係者への説明状況

教育委員会では、本計画を策定するにあたり、学校再編の考え方について、学校関係者に意見を伺うため、令和3年度に学校運営協議会や鶴ヶ島市PTA連合会に出席し、意見収集を行いました。

また、最も早く学校再編に着手する予定の学校が鶴ヶ島中学校と西中学校のため、関係する西部地区の小・中学校のPTA本部役員会に出席し、意見収集を行いました。

令和3年 5月～7月	11月	12月～
学校運営協議会	鶴ヶ島市PTA連合会	西部地区小・中学校PTA本部役員会



(2) 学校関係者からの主な意見等

1) 学校運営協議会（市内全学校運営協議会に出席：令和3年5月～7月）の主な意見等

論点	主な意見等（類似した意見等を整理）
学校再編に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より良い環境で子どもを育てるため、学校再編に取り組んでほしい。</li> <li>○学校再編はもっとスピード感をもって取り組んでほしい。</li> <li>○学校再編の際に、児童・生徒数が増えて大規模校にならないか心配である。</li> <li>○学校再編の際に、特別支援学級について、落ち着いて学習できる教育環境を整備してほしい。</li> <li>○学校再編については、未就学児の保護者にも説明が必要である。</li> <li>○学校再編によって新しい学校をつくることをコンセプトとしているが、校名や校歌、校章など変更する必要はないのではないか。</li> <li>○公共施設が市の中央に集まっている。学校再編も市の中央の学校に再編する。そうではない視点で再編はできないのか。地区によっては、学校再編によって小学校と市民センターしかなくなる。</li> </ul>
通学に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1つの小学校の卒業生が2つの中学校に分かれて進学する学校がある。こういったことも踏まえ、子どものことを考えた通学区域にしてほしい。</li> <li>○学校再編に伴い通学区域が拡大する。通学の安全についてしっかり検討してほしい。特に小学生の登下校についてはよく考えてほしい。</li> <li>○学校再編に伴い通学区域が拡大する。通学手段として、自転車通学を導入する場合、通学路の整備が必要である。</li> <li>○線路を渡って通学している児童・生徒がいる。踏切を通学することはとても危険である。</li> <li>○現在の通学区域は人口が増えている時に編成したもの。今の通学区域が本当に正しいのか。見直す時期に来ている。自治会や地区を分断しないようにしてほしい。</li> </ul>
学校に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒数が減少しても教員を減らさないようにしてほしい。</li> <li>○中学校は1クラスの上限が40人。教室はもっと広い方がよい。コロナ禍を考えると子どもが少ない学校は教室を広く使え、教育環境に恵まれている。</li> <li>○9年間変わらずに同じ小・中学校に進学する地区もあり、変わらない環境が望ましいのか。</li> <li>○通学方法としてスクールバスが導入できれば学校選択制を取り入れてもよいのではないか。</li> </ul>
校舎等の 改修に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校再編に関わらず、学校の改修はできるだけ早期に取り組んでほしい。</li> <li>○校舎改修については、現場の教員に意見を聞くなどして、使いやすい校舎を目指してほしい。</li> <li>○学校再編によって使用しない学校も必要な改修に取り組んでほしい。</li> <li>○学校改修の際、工事の音が出る。音に敏感な子どもがいるかもしれないので配慮してほしい。</li> </ul>
人口増加 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒数に影響する他の計画を考慮したうえで学校再編に取り組んでほしい。</li> <li>○災害が少なく、通勤も便利などのメリットを活かし、若い世代を呼べるようなまちづくりをしてほしい。</li> <li>○活気のある街を目指し、子どもを産み育てやすい環境を整えてほしい。</li> <li>○子どもたちの学力が上がれば人口も増える。そういった魅力的な施策に取り組んでほしい。</li> </ul>

論点	主な意見等（類似した意見等を整理）
跡地活用に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校再編に伴い、使用しなくなった学校がそのままだと街として寂しく感じる。跡地活用もしっかり検討してほしい。</li> <li>○学校の体育館は残るとのことなので、体育館を大きくすることはできないか。</li> </ul>
その他に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画は5年ごとに見直すとのことだが、見直す際には説明してほしい。</li> <li>○避難所として体育館が残ったとしても、学校がなくなってしまえば、地域と学校が普段からコミュニケーションを取れない。災害時、円滑に対応できないのではないか。</li> <li>○学校再編と関連し、学童保育室などの関係施設について、関係課と連携し、できるだけ予算の縮小を図りながら、子育てしやすい環境づくりをしてほしい。</li> <li>○計画（案）を見て戸惑った。まずは計画の基本構想を示してから、具体的な計画を策定した方が市民にはわかりやすいのではないか。</li> <li>○学校再編し、新しい学校をつくることを明るい未来と捉えると、将来成人し、転出した子どもたちがまた戻ってきたいと思えるような魅力的な地域にしたい。</li> <li>○学校再編は地域への影響は大きい。学校がなくなる地域は市民センターの役割が大きくなるかもしれない。</li> <li>○学校再編し、学校がなくなる地域について、災害備蓄品の保管場所を検討してほしい。</li> </ul>

## 2) 鶴ヶ島市PTA連合会（常任理事会に出席：令和3年11月）の主な意見等

論点	主な意見等（類似した意見等を整理）
学校再編に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校再編は長期的な計画である。定期的に学校やPTA等に情報提供してほしい。</li> <li>○学校再編の計画は長期的な計画である。説明すべき対象は小学校低学年の児童の保護者や未就学児の保護者だと思う。関係課と連携して取り組んでほしい。</li> <li>○公共施設が市の中央に集まっている。学校再編も市の中央の学校に再編する。そうではない視点で再編はできないのか。地区によっては、学校再編によって小学校と市民センターしかなくなる。</li> </ul>
通学に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の通学区域は人口が増えている時に編成したもの。今の通学区域が本当に正しいのか。見直す時期に来ている。</li> </ul>
校舎等の 改修に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校再編は随分先の計画である。老朽化が進行しているのでしっかり対応してほしい。</li> <li>○学校は避難所にもなっているので、ふさわしい設備を整えてほしい。</li> </ul>
その他に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在我々がPTAの会長職に就いているがずっと会長であるわけではない。我々が協力できることにも限界がある。</li> <li>○西中学校のグラウンドや体育館を市の公共施設として活用するなら管理はしっかり市が行ってほしい。</li> </ul>

### 3) 西部地区小・中学校PTA本部役員会（令和3年12月～令和4年1月）の主な意見等

論点	主な意見等（類似した意見等を整理）
<p>学校再編に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが鶴ヶ島中学校と西中学校の再編予定年度である令和9年度に中学2年生になる。教育環境が大きく変わり高校受験が心配である。</li> <li>○学校再編によって部活動はどうなるのか。場合によっては西中学校のみある部活動は廃止になるのか。</li> <li>○鶴ヶ島中学校と西中学校の再編を通して、こういう学校にしたいというイメージはあるのか。</li> <li>○令和9年度予定の鶴ヶ島中学校と西中学校の再編に影響があるのは小学校の何年生からか。</li> <li>○南小・中学校は施設が隣接しており、鶴ヶ島中学校と西中学校の再編より取り組みやすいのではないかと。なぜ、鶴ヶ島中学校と西中学校の再編が先なのか。</li> <li>○新町小学校と西中学校は同じ通学区域。一つの小学校に一つの中学校。小中一貫教育校として再編することは考えなかったのか。</li> <li>○再編準備のため、学校・地域・教育委員会で構成する検討組織を設置する予定とのことだが、具体的な取組内容と今後の流れは。</li> <li>○鶴ヶ島第一小学校と長久保小学校の再編において、なぜ長久保小学校を活用しないのか。</li> <li>○令和9年度予定の鶴ヶ島中学校と西中学校の再編では、西中学校の新1年生のみが（仮）西部中学校に進学し、新2年生、3年生は西中学校に通学するのか。それとも西中学校の新1年生から3年生までが（仮）西部中学校に通うことになるのか。</li> </ul>
<p>通学に関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うちの子どもは鶴ヶ島中学校と西中学校の再編によって、林の中を通学する可能性がある。暗くなると危険を感じる。</li> <li>○鶴ヶ島中学校では一部で自転車通学をしているが、西中学校との再編によって自転車通学の範囲は拡大するのか。</li> </ul>
<p>その他に 関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鶴ヶ島中学校と西中学校の再編予定年度である令和9年度に新中学2年生、3年生の制服等はどうなるのか。</li> <li>○西中学校の閉校式はしっかり行ってほしい。</li> <li>○新町小学校は今後なくなることはないと考えてよいか。もしなくなったら西の地域から学校がなくなる。</li> </ul>

令和4年2月 策定

発行 鶴ヶ島市教育委員会

編集 鶴ヶ島市教育委員会教育総務課

〒350-2292 鶴ヶ島市大字三ツ木 16-1

TEL 049-271-1111 (代表)